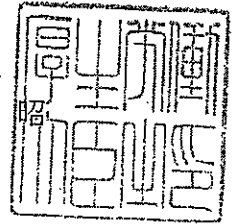




厚生労働省発食安0527第1号  
平成22年5月27日

薬事・食品衛生審議会  
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 長 妻



諮問書

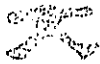
食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、  
下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

アゾキシストロビン

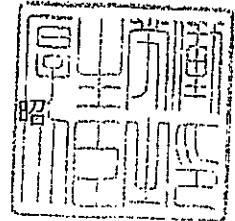
- 59 食品健康影響評価の結果の通知について  
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-tuuchi-cyflumetofen171024.pdf>)
- 60 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生労働省告示第370号)の一部を改正する件(平成17年10月26日付、厚生労働省告示第347号)
- 61 食品健康影響評価について  
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-cyflumetofen-210609.pdf>)
- 62 農薬抄録シフルメトフェン(殺虫剤)(平成21年4月7日改訂):大塚化学株式会社、2009年、一部公表予定
- 63 シフルメトフェンの作物残留試験成績:大塚化学株式会社、2008年、未公表
- 64 第289回食品安全委員会  
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai289/index.html>)



厚生労働省発食安0527第1号  
平成22年5月27日

薬事・食品衛生審議会  
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 長 妻



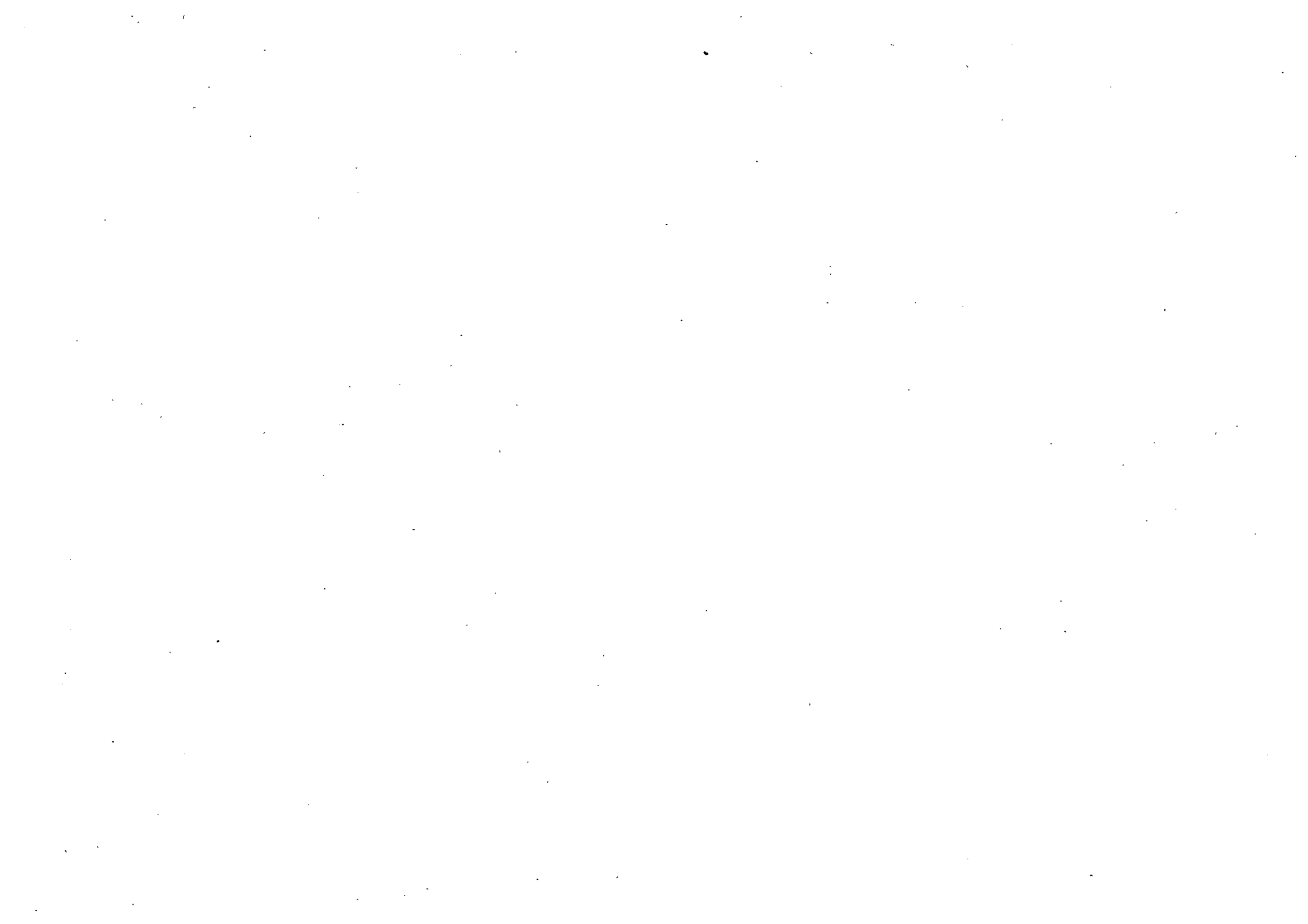
諮問書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、  
下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

アゾキシストロビン



平成22年7月2日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成22年5月27日付け厚生労働省発食安0527第1号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくアゾキシストロピンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

## アゾキシストロビン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

### 1. 概要

(1) 品目名：アゾキシストロビン [Azoxystrobin (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

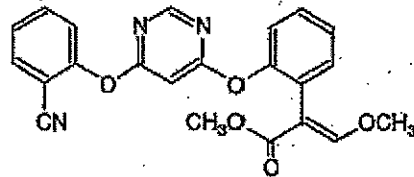
ストロビルリン系殺菌剤である。エネルギー生成に重要な役割を果たしているミトコンドリアの電子伝達系の中のコハク酸-CoQリダクターゼ間の電子伝達を阻害することにより作用すると考えられる。

(3) 化学名：

methyl (*E*)-2-{2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yloxy]phenyl}-3-methoxyacrylate  
(IUPAC)

methyl (*E*)-2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]- $\alpha$ -(methoxymethylene)-  
benzeneacetate(CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式 C<sub>22</sub>H<sub>17</sub>N<sub>3</sub>O<sub>5</sub>

分子量 403.4

水溶解度 6.0 mg/L (20°C)

分配係数 log<sub>10</sub>Pow=2.5 (20°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。  
 なお「作物名」となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）  
 に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数				
小麦	紅色雪腐病	原液	4~8mL/ 乾燥種子1kg	は種前	1回	種子吹き付け処理	4回以内（種子への処理は1回以内、は種後は3回以内）				
	うどんこ病 赤さび病	2000~3000倍	100~ 200L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布					
だいず	紫斑病		16~24倍				100~ 400L/10a	2回以内	無人ヘリコプターによる散布	2回以内	
	腐敗粒 べと病	2000倍		800mL/10a							
	えだまめ					3回以内		3回以内			
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500~2000倍	100~ 400L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内				
	灰色かび病 菌核病							1500倍			
	褐斑病 炭疽病	2000倍									
	にがうり							うどんこ病 べと病 炭疽病		3回以内	3回以内
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病	1500~2000倍	100~ 400L/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内				
	メロン							うどんこ病 つる枯病 べと病	2000倍	収穫前日まで	4回以内
								すいか			
トマト	葉かび病 灰色かび病	2000倍	100~ 400L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内				
	なす							うどんこ病 すすかび病			
葉たまねぎ		灰色腐敗病 べと病		収穫3日前まで	3回以内		3回以内				
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病			収穫前日まで							
ねぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病			収穫3日前まで	4回以内		4回以内				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数		
わけぎ	さび病	2000 倍	100~400L/ 10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内		
	べと病								
	黄斑病								
	黒斑病								
あさつき	さび病			収穫3日前まで	4回以内			散布	4回以内
	べと病								
	黄斑病								
	黒斑病								
にら	白斑葉枯病			収穫14日前まで	2回以内			散布	2回以内
にんにく	さび病			3回以内	散布			3回以内	
	葉枯病								
はくさい	べと病		4回以内	散布	4回以内				
	黒斑病								
	白さび病								
	白斑病								
レタス	菌核病		4回以内 (土 壌灌注は2回 以内)	3L/m <sup>2</sup>	収穫30日前 まで	2回以内	土壌灌注		
	灰色かび病								
	べと病								
キャベツ	ビッグベ イン病	4回以内	4回以内	散布	4回以内				
	菌核病								
非結球レ タス	菌核病	4回以内	4回以内	散布	4回以内				
	灰色かび病								
	べと病								
いちご	菌核病	100~ 400L/10a	100~ 400L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	7回以内 (苗 床では4回以 内、本圃では 3回以内)		
	うどんこ病							1500~2000倍	
	炭疽病							2000倍	
	灰色かび病							1500倍	
	うどんこ病							1500~2000倍	
	炭疽病							2000倍	
灰色かび病	1500倍								
アスパラ ガス	茎枯病	2000倍	4回以内	4回以内	4回以内				
	斑点病								
	褐斑病								
てんさい	葉腐病	1500倍	3回以内	3回以内	4回以内 (灌 注は1回以 内、散布は3 回以内)				
	褐斑病								
	根腐病	1500~2000倍	500倍	ペーパーポ ット1冊当り 1L (3L/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	苗床灌注		
茶	炭疽病	2000倍	100~ 400L/10a	摘採14日前 まで	3回以内	散布	3回以内		
	輪斑病								
	新梢枯死症 (輪斑病菌 による)								
	もち病								
非結球あ ぶらな科 葉菜類	白さび病	2回以内	2回以内	2回以内					
エンダイ ブ	菌核病	1回	1回	1回					



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキストロピンを 含む農薬の 総使用回数
らっきょう	さび病	2000倍	100~400L /10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
パセリ	うどんこ病			収穫45日前まで	1回		1回
みつば	灰色かび病			収穫14日前まで 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで			
みょうが (花穂)	紋枯病		3L/m <sup>2</sup>	収穫3日前まで	2回以内	土壌灌注	2回以内
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂)の収穫3日前まで 但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで			
しそ	斑点病		100~ 400L/10a	収穫前日まで	4回以内	株元散布	4回以内
せり	葉枯病			収穫7日前まで			
クレソン	斑点病			収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
だいこん	白さび病 ワッカ症			収穫14日前まで			
あずき	炭疽病		60~ 200L/10a	収穫7日前まで	1回	散布	1回
いんげんまめ							
葉ごぼう	うどんこ病		100~ 400L/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
こおにたびらこ	菌核病			収穫30日前まで			
ははこぐさ				2回以内	2回以内		
ズッキーニ	うどんこ病					収穫前日まで	
ピーマン	灰色かび病					収穫前日まで	
オクラ	うどんこ病			収穫7日前まで	3回以内	3回以内	
畑わさび	白さび病			畑育苗期			
わさび				収穫7日前まで			
かぶ							
さやいんげん	灰色かび病	3回以内		3回以内	3回以内		
さやえんどう 実えんどう	菌核病 褐紋病						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
セルリー	斑点病	2000倍	100～400L/ 10a	収穫3日前まで	4回以内	散布	4回以内
未成熟そらめ	さび病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
ばれいしょ	夏疫病	3000～4000倍		—	植付前		1回
	黒あざ病	500倍					
やまのいも	葉疫病	2000倍	100～400L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
せんぶり	炭疽病			収穫7日前まで			
	さび病						

② 10.0%アゾキシストロピンフロアブル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数		
なし	黒星病	1000～1500倍	200～700L/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内		
	黒斑病								
	輪紋病								
	うどんこ病								
ぶどう	炭疽病	1000倍		200～700L/10a	収穫30日前まで		3回以内	散布	3回以内
	黒とう病								
	灰色かび病								
	べと病								
	枝膨病								
	晩腐病								
	褐斑病								
さび病									
おうとう	灰星病	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
	褐色せん孔病								
もも	炭疽病	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
	灰星病								
ネクタリン	黒星病	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
	灰星病								
パッションフルーツ	円斑病	1000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
	疫病								
かき	うどんこ病	1000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	落葉病								
	炭疽病								
	黒点病								
りんご	うどんこ病	1000倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	3回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数
いちじく	そうか病	1000倍	200~700L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散 布	3回以内
	疫病						
	さび病						
すもも	灰星病	1500倍		収穫7日前まで	1回		1回
	すす点病			収穫前日まで			3回以内
びわ	炭疽病	1000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
うめ	黒星病			収穫前日まで			
バナナ		炭疽病		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
マンゴー	炭腐症			収穫前日まで			
グアバ(果実)		炭腐症		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
オリーブ	炭腐症		収穫30日前まで	3回以内		3回以内	
オリーブ(葉)		炭腐症	収穫前日まで		3回以内		3回以内
ビタヤ	炭腐症		炭腐症	炭腐症		炭腐症	

③ 8.0%アゾキシストロピン剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000~ 1500倍	100~200 L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散 布	4回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では 3回以内)
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌) 変色米 (カーブリア菌) 変色米 (エビコッカ菌) 変色米 (アルカリア菌)	1000倍					
	いもち病 紋枯病	8倍					
		原液	120~150mL /10a			空中散布	
		30倍	3L/10a			散 布	
		300倍	25L/10a				

④ 1.5%アゾキシストロビン剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂10~30日前	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内)

⑤ 0.6%アゾキシストロビン剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内)

⑥ 5.1%アゾキシストロビン・40%クロロタロニルフロアブル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000倍	100~ 400L/ 10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
にがうり	うどんこ病			3回以内	4回以内		
かぼちゃ	うどんこ病 べと病			3回以内	4回以内		
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病			4回以内	4回以内		
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病			4回以内	4回以内		
トマト	疫病			4回以内	4回以内		
ミニトマト	葉かび病 炭疽病 灰色かび病 すすかび病			2回以内	2回以内		
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病			4回以内	4回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病	1000倍	100～400L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			収穫7日前まで	2回以内		
だいこん	白さび病			収穫45日前まで	3回以内		3回以内
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病			収穫21日前まで	2回以内		2回以内
たまねぎ	灰色かび病 べと病			収穫7日前まで	4回以内		4回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病			収穫14日前まで	2回以内		
にんにく	さび病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内

⑦ 18.2%アゾキシストロビン・11.3%ジフェノコナゾールフロアブル剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	1000～2000倍	100～400L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)
	葉腐病	2000倍					

\* 有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値17%アゾキシストロビン・10.5%ジフェノコナゾール製剤と同一製剤である。

⑧ 2.0%アゾキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤  
(新規申請中 申請日：平成20年3月27日)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで	2回以内	土壌表面散布	4回以内 (粒剤は2回以内)
みょうが (花穂)						
しょうが			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内

(2) 海外での使用方法 (ブラジル)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
コーヒー	褐斑病 さび病	0.05kg/ha	収穫21日前まで	4回以内	散布
	葉腐病 さび病 <i>Phoma costarricensis</i>				土壌灌注

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

アゾキシストロビン

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出後、多孔性けいそう土カラム又はヘキサン・アセトニトリル分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製し、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

定量限界 0.01 (ppm)

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1を、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

## 4. 魚介類への推定残留量

本農薬については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本農薬の水産動植物被害予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数(BCF: Bioconcentration Factor)から、以下の通り魚介類中の推定残留量を算出した。

水産動植物被害予測濃度については、本農薬が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田PECTier2<sup>注2)</sup>及び非水田PECTier1<sup>注3)</sup>について算出したところ、水田PECTier2は0.47ppb、非水田PECTier1は0.0049ppbとなったことから、水田PECTier2の0.47ppbを採用した。

また、BCFについては実測値がないため、オクタール/水分配係数( $\log_{10}Pow: 2.5$ )から、相関式( $\log_{10}BCF=0.80 \times \log_{10}Pow - 0.52$ )を用いて算出した。

水産動植物被害予測濃度: 0.47ppb、BCF: 30

推定残留量 =  $0.47ppb \times (30 \times 5) = 70.5ppb = 0.0705ppm$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考: 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書)

## 5. 乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビン0、5、25、75、250ppmを含有する濃厚飼料(20kg/day)を牧草と共に27~30日間にわたり摂食させ(それぞれ0、100、500、1500、5000mg/頭/dayに相当)、牛乳、皮下脂肪、腹腔内脂肪、胸筋、大腿部の内転筋、肝臓及び腎臓に含まれるアゾキシストロビン含量を測定したところ、下記のとおりであった。なお、牛乳については、投与開始後1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31日目に搾乳したものを測定した。(定量限界: 牛乳 0.001 ppm、牛乳以外 0.01ppm)

上記の結果に関連し、JMPRでは牛における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB) を 72ppmと評価している。

表、組織中の最大残留 (ppm)

	5ppm 投与群	25ppm 投与群	75ppm 投与群	250ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

#### 6. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対して0、6、18、60ppm (0、0.72、2.16、7.2mg/鶏/day) の濃度でアゾキシストロピンを含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロピン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01 ppmであった。また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。

上記の結果に関連し、JMPRではMTDBを22ppmと評価している。

#### 7. ADIの評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会にて意見を求めたアゾキシストロピンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：18.2mg/kg体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌投与

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI：0.18mg/kg体重/day

#### 8. 諸外国における状況

2008年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてしょうが、えだまめ等に、オーストラリアにおいてバナナ、アボカド等に、ニュージーランドにおいて大豆、ぶどう等に、カナダにおいてぶどう、なたね等に及びEUにおいてしょうが、えだまめ等において基準値が設定されている。



## 9. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

アゾキシストロビンとする。

海外の作物残留試験においてメチル (Z) -2- [2- [6- (2-シアノフェノキシ) ピリミジン-4-イルオキシ] フェニル] -3-メトキシアクリレート (以下、「Z体」という。) が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分が10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験 (10試験) においては、いずれも定量限界未満 (<0.01ppm) であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、食品中の暴露評価対象物質としてアゾキシストロビン (親化合物のみ) を設定しており、JMPRの勧告による国際基準の規制対象もアゾキシストロビン (親化合物のみ) のみである。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量 (理論最大摂取量(TMDI)) のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	理論最大摂取量(TMDI)/ADI (%) <sup>(注)</sup>
国民平均	31.3
幼小児 (1~6歳)	58.7
妊婦	23.7
高齢者 (65歳以上)	33.8

注) TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

高齢者については畜水産物の摂取量データが、妊婦については水産物の摂取量データがそれぞれないため、国民平均の摂取量を参考とした。

アズキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数			
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:<0.01(#)(4回、39日)	
					35, 39, 46日	圃場B:<0.01(#)(4回、35日)	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:0.01(#)(4回、14日)	
					14, 21, 28日	圃場B:0.02(#)(4回、14日)	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.04(#)(4回、13日)	
					14, 21, 28日	圃場B:0.02(#)(4回、28日)	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03(#)	
						圃場B:0.04(#)	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01(#)	
						圃場B:0.02(#)	
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02(#)(4回、14日)	
						圃場B:0.02(#)(4回、21日)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:0.84(#)(4回、41日)	
					35, 39, 46日	圃場B:0.99(#)(4回、35日)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:1.14(#)(4回、14日)	
					14, 21, 28日	圃場B:0.54(#)(4回、14日)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.54(#)(4回、20日)	
					14, 21, 28日	圃場B:0.94(#)(4回、14日)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.52(#)	
						圃場B:0.94(#)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:0.64(#)	
						圃場B:1.64(#)	
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:2.32(#)(4回、14日)	
						圃場B:1.07(#)(4回、14日)	
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	237日	圃場A:<0.01(#)	
				5回			7, 14, 21日
小麦※ (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	2回	208日	圃場A:0.01(#)	
				5回			7, 14, 21日
だいたず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02(#)(3回、7日)	
						圃場B:0.01(#)(3回、7日)	
だいたず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.03(#)(2回、7日)	
						圃場B:0.05(#)(2回、7日)	
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01	
						圃場B:0.01(3回、14日)	
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01(#)(3回、7日)	
						圃場B:<0.01(#)(3回、7日)	
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 300倍散布 200~250L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.003	
						圃場B:<0.003	
やまのいも (塊根)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14日	圃場A:<0.01	
						圃場B:<0.01	
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01	
						圃場B:<0.01	
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	21, 28日	圃場A:<0.01	
						圃場B:<0.01	

農作物	試験圃場	試験条件			経過日数		最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数				
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a +500倍土壌灌注 1L/冊	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01	圃場B:0.01	
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01	圃場B:<0.01	
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44	圃場B:0.14	
かぶ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36	圃場B:8.64	
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02	圃場B:0.04(2回、14日)	
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.20	圃場B:0.26	
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) +2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(#)(5回、7日)		
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06		
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08	圃場B:<0.01	
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.0	圃場B:0.2	
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:8.5	圃場B:24.6	
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.12	圃場B:5.34	
サガミグリーン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.18	圃場B:4.12	
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.76	圃場B:3.32	
細わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86	圃場B:11.8	
細わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回、14日)	圃場B:0.73	
細わさび (花及び花茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300~320L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:1.52	圃場B:7.16	
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05	圃場B:1.18	
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52	圃場B:2.94(4回、14日)	
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4	圃場B:2.5	
サラダ菜 (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:14.0	圃場B:15.9	
リーフレタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100~245L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:21.0	圃場B:5.0	
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28日	圃場A:2.2	圃場B:1.6	
ほとけのざ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.86		

農作物	試験圃場	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
ごぎょう (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.36
たまねぎ※ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02(#)(4回、1日) 圃場B:<0.01(#)(4回、1日)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回、7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
わけぎ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回、7日) 圃場B:0.02
にんじん※ (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回、60日) 圃場B:0.33
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A:0.7 圃場B:0.8
トマト※ (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40(#)(4回、1日) 圃場B:0.09(#)(4回、8日)
ミニトマト (果実)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.2(#)(2回、7日) 圃場B:0.1(#)(2回、7日)
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
きゅうり※ (果実)	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	46日	圃場A:<0.01(#)
				4回	1, 3, 7日	圃場A:0.20(#)(4回、1日)
				5回		圃場A:0.16(#)(5回、1日)
	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	1回	85日	圃場A:0.01(#)
				4回	1, 3, 7日	圃場B:0.48(#)(4回、1日)
				5回		圃場A:0.25(#)(5回、1日)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1(#)(4回、7日) 圃場B:<0.1(#)(4回、7日)
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.2 圃場B:0.2
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.01(4回、7日) 圃場B:<0.01

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にがうり (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7日	圃場A:0.11 圃場B:0.40
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
しょうが (塊茎)	2	2%粒剤	散布18kg/10a	3回	30, 40日	圃場A:0.013 圃場B:0.058
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.28(3回、3日) 圃場B:1.30
えだまめ (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.32 圃場B:0.47(3回、3日)
せんぶり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:14.8 圃場B:3.65(3回、14日)
オリーブ (葉)	2	10%フロアブル	1000倍散布 322~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:8.75(#)(2回、28日) 圃場B:7.16(#)(2回、28日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98(#) 圃場B:0.14(#)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A:0.60 圃場B:0.36
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35
びわ※ (果実)	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.014
	3回			圃場A:0.017		
1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.008	
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.57 圃場B:6.42(3回、3日)
ネクタリン※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回、3日)
					1, 3, 7日	圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.6(3回、7日) 圃場B:0.7
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回、3日) 圃場B:0.47
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/株	5回	89日	圃場A:0.11(#)
				8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(#)(8回、1日)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	5回	217日	圃場A:0.03(#)
				8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(#)(8回、1日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~ 500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日	圃場A:4.22(#)(4回、45日)
					45, 59, 75日	圃場B:1.68(#)(4回、45日)
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.36
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.33 圃場B:0.72

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
グアバ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 139~222L/10a	3回	14, 21日 7, 14, 21日	圃場A:0.03(＃)(3回、14日) 圃場B:0.08(＃)(3回、7日)
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.5 圃場B:0.4
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.33 圃場B:0.30
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.25 圃場B:0.58
ピタヤ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 188~200L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:1.42(＃)(3回、1日) 圃場B:0.37(＃)(3回、7日)
オリーブ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 333~500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:1.16(＃)(2回、28日) 圃場B:0.42(＃)(2回、28日)
茶※ (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:4.75 圃場B:2.62 圃場C:0.80 圃場D:3.46
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.5 圃場B:0.8
シソ (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.04
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.50(＃)(4回、3日) 圃場B:0.34(＃)(4回、3日)
みょうが (花穂)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	散布18kg/10a +2000倍土壌灌注 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.2 圃場B:1.0

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験結果)を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロピン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

(＃) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

今回の適用拡大申請にかかる作物残留試験を含め、前回審議以降に提出された作物残留試験結果は網掛け表示した。

## アゾキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (籾米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.12 圃場E:0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:0.06 圃場I:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
てんさい (根茎)	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ (根茎)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン (根茎)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回 6回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
キャベツ (葉) ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ (葉)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ (根茎)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05
ケール (根茎)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日 13, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31 (2回、21日)
マスタード (葉)	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 135-280g ai/ha 散布	6回	0, 6日 0日 0日 0, 7日 0日 0, 7日 0, 6日 0日 0日	圃場A:4.81 圃場B:14.7 圃場C:4.36 圃場D:5.60 (6回、7日) 圃場E:12.2 圃場F:10.7 (6回、7日) 圃場G:21.0 圃場H:7.52 圃場I:7.19
ブロッコリー (花穂)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7日 0日 0, 4, 6日 0日	圃場A:0.804 (6回、7日) 圃場B:1.29 圃場C:2.13 圃場D:0.187
カリフラワー (花穂)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.06 圃場C:0.17 圃場D:0.15
アーティチョーク (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.6 圃場B:1.7 圃場C:2.3



農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.49 圃場B:3.37 圃場C:3.43 圃場D:3.77 圃場E:2.47 圃場F:4.70 圃場G:3.39 圃場H:2.11
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.1 圃場B:3.5 圃場C:4.4 圃場D:10.0 圃場E:8.2 圃場F:4.9 圃場G:13.5 圃場H:2.7
たまねぎ (鱗茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.55 圃場B:0.20 圃場C:0.45 圃場D:0.30 圃場E:<0.01 圃場F:0.14 圃場G:0.28 圃場H:0.07
ねぎ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:5.5 圃場B:1.4
ねぎ (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.2 圃場B:1.4 圃場C:2.3 圃場D:0.58
ねぎ (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.0 圃場B:1.9 圃場C:2.0 圃場D:0.19
にんじん (根茎)	6	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.17 圃場B:0.11 圃場C:0.23 圃場D:0.02 圃場E:0.29 圃場F:0.13
パセリ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:19.7 圃場B:14.2
セルリー (根茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.1 圃場B:3.8 圃場C:9.1 圃場D:3.2 圃場E:2.3 圃場F:4.6 圃場G:5.6 圃場H:2.2
きゅうり (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.04 圃場E:0.09 圃場F:0.07 圃場G:0.05